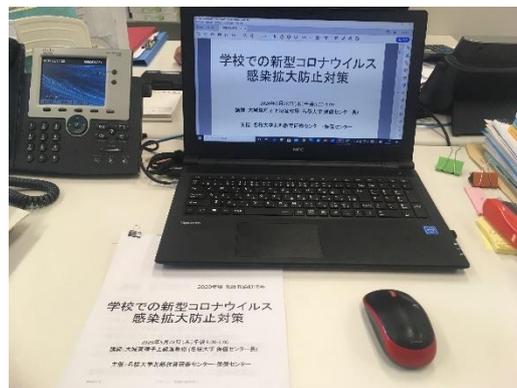


## 「養護教諭研修会(オンライン講座)」報告書

日 時	2020年5月28日(木) 15:00~16:00
研 修 名	養護教諭研修会【Zoomによるオンライン講座】
研修の目的	養護教諭を対象に、名桜大学の新型コロナウイルス感染拡大防止対策の事例を紹介し、学校現場での感染拡大防止に資する。
講 師	大城真理子先生(名桜大学保健センター長、上級准教授)
テ ー マ	「学校での新型コロナウイルス感染拡大防止対策」
会場・場所	ZoomによるWebでの双方向研修(受講は各学校)
研修内容	<p>現役の医師でもあり、名桜大学保健センター長の<b>大城真理子先生</b>を講師に、以下の内容で研修を行った。</p> <p><b>内 容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.導入「ZoomによるWebの反応確認や大城先生の自己紹介」</li> <li>2.名桜大学ホームページに掲載されている新型コロナウイルスに関するガイドラインや対策等の紹介</li> <li>3.新聞に掲載された「登校自粛要請」の紹介と対応策</li> <li>4.接触者・感染者の登校再開の基準の定義(名桜大学独自)</li> <li>5.教室の換気について</li> <li>6.文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の解説</li> <li>7.養護教諭からの質疑応答</li> </ol>
成果／活用策	<p>○名桜大学の細かい取り組みを紹介してもらえて、参考にしたいところが多々ありました。特に健康観察シートがオンライン入力ですところが時代を感じました。沢山の新型コロナに関するお知らせ、すばらしいです。</p> <p>○①第二波を策定したマニュアルの策定 ②継続した感染予防の呼びかけの根拠材料(保健だより、保健学習等で周知) ③マスクの扱い方(マスクの忘れの対応、マスクの保管) ④地域の感染レベルの解釈。</p> <p>○名桜大学の取り組みを参考に勤務校の実態に応じて取り組んでいきたい。教職員と情報共有を行い、連携して取り組んでいきたい。</p> <p>○本校は離島であるため、対外行事や部活動の大会は宿泊が伴います。名桜大学の独自で考えられた遠征先での発熱対応を参考に現状や地域に合わせた活用を行っていきたい。</p> <p>○消毒方法について、具体的に洗剤名や使用方法など大変参考になった。マスクの着用についても給食や体育で外した時のハンカチの活用等細かいところまでお話しくださったので、大変参考になりました。</p> <p>○地域や学校の実態に応じて、学校の行動基準を作成してみたい。</p> <p>○解熱後の登校についての対応やほうれんそうチャートなどの活用についても再</p>

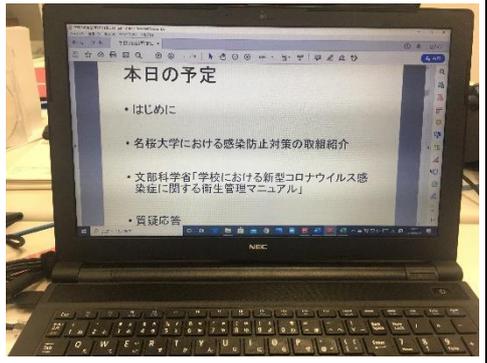


度、大学のホームページで確認したいと思います。

- 現在の地域別感染レベルや対策について知ることができ、学校での感染対策と比較し改善点が見えた。
- 名桜大学独自の取り組みもあり参考にできる部分（換気や解熱後の登校）については、具体的な数値があり、学校でも取り入れていけたらと思った。
- 名桜大学での取り組みを知ることができたので、今現在取り組んでいることはムダではなかったのだと安心しました。学校に1人しかいないので、他の学校の取り組みを知ることができて良い機会になりました。学校全体で情報共有して、子ども達の健康を守っていききたいと思います。
- 文科省から出された「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の内容を一緒に確認できて良かったです。p11「各自必要な持ち物」の中で「マスクを置く際の清潔なビニールや布等」と見たとき、どのようにしたらより良いのか迷いがあったので、先生の案が聞けて参考になりました。
- 北部地区が、レベル2からレベル1に移行中という話ができたと。
- 新しい生活様式における玄関前検温の実施方法など。（研修後に、学んだ事を参考に「計画作成→提案→実施」ができた。）
- 検温の方法や換気、消毒について。

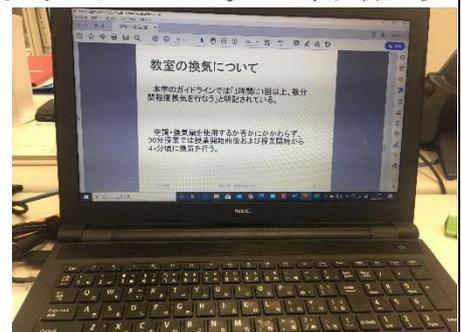
感想／要望

- 濃厚接触者の定義の説明がとても分かりやすかったです。その資料で確認してみると、私の周りの濃厚接触者として仕事を休んでいた人たちは、休まなくてよかったことが分かりました。（北海道大学ややんばる病理ブログもすぐチェックしました。
- 日々迷いながらの感染予防でしたが、たくさんのヒントを頂き助かりました。次亜塩素酸水の有効性は度々議論されていると耳にしますが、手指消毒に使用していました。今回の回答を受け少し検討案件なのかなと思いました。より一層手洗い指導に励みたいと思います。沢山の情報の共有をありがとうございました。
- 新しい生活様式に沿ったオンライン研修・・・感染症とともにどう過ごしていくか、今後の生活スタイル、行動変容等、いろいろ考えさせられる研修方法だった。
- 第2波について深く考えていませんでした。しかし、今回の研修会でいつ第2波が訪れても不思議ではないと思いました。今後に備えて臨機応変に対応できるようにしたら良いか考えるきっかけになりました。
- 大学での取り組みや、改めてマニュアルを説明していただいたことで、現在、本校で行っている対応を見直し確認する機会となった。学校再開前に研修会があると良かったと思いましたが、再開後に課題や気づくことも多かったため、この時期で良かったです。
- 名桜大学でのコロナウイルス感染防止への対策について知ることができて良かった。第2波が来るかも？ということを入念にしながら学校の行動基準を作成していきたいと思いました。
- 実際に大学で行っている対応や対策を聞くことができ、今後の参考にしたいと思うことが沢山ありました。
- 非接触型の体温計は、そうではない物と比較し測定値に差が出そうだったので使用していなかったが、今回の研修を受けてスクリーニングとして導入したい。日々状況は



変わるので何度かこのような研修があると嬉しい。

- 学校でコロナ対策を行っていても3密を避けることは難しいと思った。1人1人の生徒が意識できるように養護教諭として取り組みたいと思う。
- 今回の研修では、換気の工夫や手洗い、消毒についてなど細かく知ることができました。自分の学校ではどのような工夫ができるかなどを考えることができました。新しい生活スタイルの定着ができるよう熟読して、教職員、児童、保護者に資料等を配布できるようにしていきたいです。
- 大きな会場での研修と違い、気軽に質問しやすいところが良かったです。先生が何度も「気軽に質問、相づちをチャットでしてください。」と声をかけてくださったのが大きかったと思います。
- 大学独自のやり方は、高校では同じようにはできないが、休ませる基準等が参考になりました。
- 学校に1名の養護教諭として勤務していて、今回のコロナ対策の件などについて誰に相談していいのか、どのように対応していくのが正解なのか、様々な方面からの情報が分からない事ばかりで不安な気持ちがある毎日でしたが、今回の研修では養護教諭の参加者が大勢いるということで、みんな同じように頑張っている、戦っている仲間がいるということが実感できました。このような研修を開催していただき、ありがとうございました。
- 地元の大学がどのような対策をしているか、お話が聞けたのでよかったです。
- めまぐるしく状況は変化していくので、定期的開催していただけると嬉しいです。
- 今後もこのような研修があれば参加したいと思います。
- 離島なのでZoomだと参加しやすかったです。今後もZoomなどを活用して研修して頂くと参加しやすいです。
- 新型コロナウイルスについては、初めての事だらけで何をどういう風に進んでいいか、これでいいのか迷いながらの毎日です。ですので、リアルタイムの研修会でも良かったです。
- 研修中10分おきに児童の来室があり、中断されてしまった。受講する場所を次から変える予定です。文書に一言、研修機会の確保について書いて頂けると受講しやすいです。
- 北部地域は研修が少ないため、このような取り組みはとても助かりました。生徒の救急処置についての研修もあればいいなと思います。
- オンラインの研修を行う時は、事前に動画を撮って配信した方がパワーポイント等を使用したりでき、また、雑音等も入りにくいのではないかと思います。
- 今回は、現役医師のご講話ということでとても参考になりました。また、実際に現場で活躍する専門医、専門機関の職員などのご講話やすぐに学校現場で使える情報などがあると嬉しいです。
- 今後、コロナウイルス感染症の状況が変化し、また違った対応が求められる事になった場合には、今回のような研修を実施してもらいたいです。



Zoom(オンライン)による研修の感想	<p>○初めての Zoom ですが、電話での問い合わせにも丁寧に対応してくれて有難うございました。また次も機会があれば参加させてください。</p> <p>○とても聞きやすく分かりやすかったです。</p> <p>○初めての試みのオンライン研修は勤務校にいて受講できるので便利だと思った。本校は小規模校なので来室が少ないが、大規模校となると保健室を閉めて研修を受けるのかなと思うと受けにくい養護教諭も出てくるのでは？と感じた。事前に Zoom の使い方(設定方法)等の手順があれば、さらに効果的に使えるのではないかと思った。</p> <p>○始まる前は、すごく戸惑いましたが、最後まで研修を受講できホッとしています。保健室内での研修は生徒への対応が入ってしまったため、次はやり方を工夫しようと考えました。</p> <p>○初めての経験で戸惑うこともあったが、音声も聞きとりやすく、比較的スムーズであった。保健室のパソコンを使用したため、来室者の対応をしながらの研修になってしまい、なかなか集中できなかった。</p> <p>○思っていたよりも簡単に操作できたので良かった。チャット機能がよく質問も共有できたので良かったと思う。</p> <p>○初めてのオンライン研修が、どうものなのか不安でしたが、実際に研修会を行ってみて大満足でした。普通の研修会では座る場所によってスクリーンが見えなかったりするので、その心配がなくスムーズにできました。</p> <p>○実際の研修だと沢山の人がいる前で、質問するのは勇気がいるが、今回はチャットでも質問でき、容易であった。</p> <p>○音声が聞きづらかったのですが、分かりやすい説明もあり良かったと思います。</p> <p>○Zoom による研修はあまり慣れていなかったのが新鮮でした。</p> <p>○会場に大勢が集まらずに済むオンライン研修は、感染症予防になりいい方法だと思います。しかし、今回保健室で受けていたので子ども達の来室もあって研修すべてを聞くことができなかったのは、本校の課題かなと思いました。</p> <p>○ちゃんと質問できるし、移動の時間がなくなるのは良いと思った。ただ、研修中ということが周りには解りづらいので、電話が着たり、来室があつたりして研修に集中することは難しいと思いました。</p> <p>○校内に居ながら1時間で研修が受けられたのは良かったです。</p>
---------------------	---

#### <アンケートの結果>

目標参加者数	30 人	参加者	28 人	参加率 55% 参加率=目標参加数÷参加数
アンケート回収数	14 件	回収率	50%	回収率=回収数÷参加者数 (%)

アンケート項目	評価 4		評価 3	
	研修の時期について	適切であった	10 人(78.4%)	まあまあ適切だった
興味を引く研修内容でしたか	非常に良かった	9 人(64.3%)	良かった	5 人(35.7%)
今後の教育活動に活かそうですか	非常に活かそう	9 人(64.3%)	まあまあ活かそう	5 人(35.7%)

※評価 2. 評価 1 は 0 であった。